

(別紙4(2))

事業所名: グループホームあじさいの家

目標達成計画

作成日: 令和5年3月4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11 (7)	円滑な職員意見のの反映に繋げる為にも強化されている、介護現場におけるハラスメントについて、事業者の方針等の明確化及び、その周知・啓発、相談(苦情を含む)対応窓口、研修実施等、事業所としての体制が不十分である。	・ハラスメント防止対策の強化を行う。	①ハラスメントについて指針を作り、事業所の方針を明確化すると共に、周知・啓発を行う。 ②相談(苦情を含む)に応じ適切に対応するための体制を整備し、職員へ周知する。 ③ハラスメントに関する研修を行う。	1ヶ月
2	10 (6)	外部評価調査時に行う家族アンケートを活用して意見を反映できる機会があることなど、重要事項説明時第三者(外部)評価の受審状況を重要事項説明書で分かるよう記載がされていない。	・運営に関して、利用者、家族などの意見が管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設けて透明性のある運営を行っていることを周知する。	①重要事項説明書に第三者(外部)評価の受審状況を追加記載する。 ②契約時には、運営に関して、利用者、家族等の意見が反映できる機会を設けていることの説明を重要事項に沿って十分に行う。 ③既に利用中の方に対しては、文章を送付し説明を行う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。